



市芸能発表会（昨年9月5日、西根地区市民センター）

先人から受け継ぐ(4) おおいし たいら ねん ぶつ けん ばい 大石平念仏剣舞

山岳信仰の山伏が源義経の霊を弔うために踊ったのが始まりという。一説に、義経が旧玉山村（現在の盛岡市玉山区）武道の館にこもって付近の者に剣の奥義を踊りにして教えたのが起こりとも伝えられ、義経と関わりのあるものとして旧玉山村の剣舞に同じと言われている。

踊りは、昔は男性が舞ったが、現在は

女性で継承されている。踊り手は、剣を合わせる踊りのため偶数の組をつくり、前結びの鉢巻き、浴衣に白足袋、草履の装いで踊る。舞は48あると言われているが、伝承されているものは全部ではない。

○保存会代表 武田カヨさん

○市無形民俗文化財の指定 昭和56年3月25日（旧西根町指定）



あ と が き



えつろう 高橋悦郎

3月11日、予算特別委員会で新年度予算を審議中、突然襲ってきたマグニチュード9の大地震。幸い市内では大きな被害はありませんでした。しかし、三陸沿岸を襲った大津波は想像を絶する大被害をもたらしました。県内だけでも死者・不明者合わせ7800人を超えました。改めまして、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

市は宮古市と災害救援協定を結んでいます。当然のこととして、宮古市を中心にいろいろな形で支援を行ってまいりました。今、被災者の二次避難として、市内宿泊施設に受け入れています。時間がたつにつれ、支援の内容が複雑化しています。市職員には、長丁場の被災者支援と本来の市行政事務の遂行に、奮闘を願うものです。議会も状況をよく見極め、適切な支援が行われるよう努めてまいります。

議会広報特別委員会

委員長 伊藤一彦

副委員長 渡邊 正

委員 三浦 侃

委員 大森力男

高橋悦郎

立花安文